

校務情報化の推進について

教育指導課情報化推進係

1 学校における「情報化」の意義

社会・経済の成熟とともに、学校教育を取り巻く環境も年々複雑さを増している。このため、様々な情報をもとにした適確な分析と適切な判断・行動が必要となっている。

大量で多様な情報の意味を読み解き、それらを活用することによって学校運営を高度化していくことが、学校における「情報化」である。

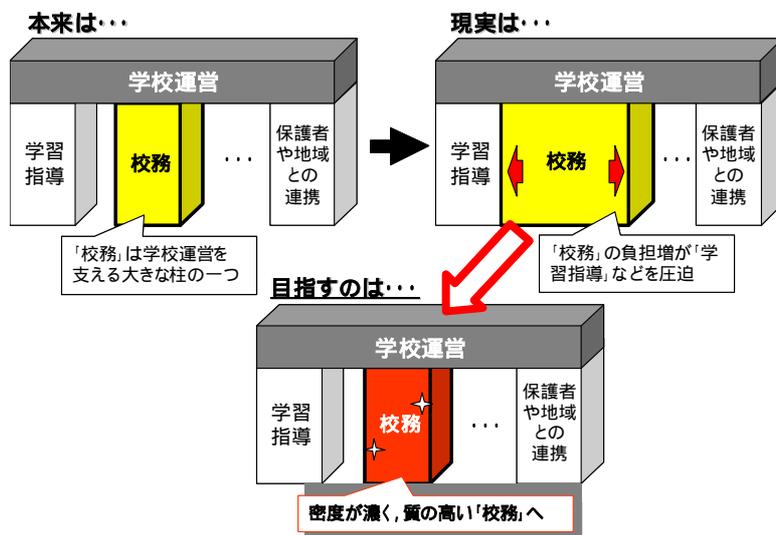
2 校務情報化に必要なもの

校務の質をより高いものとしていくためには、効率化を図ることが、その第一歩となる。

その際、パソコンを使って文書の作成時間を短縮するなど、情報機器の活用が大きな効果を発揮する。(情報機器の活用による効率化)

しかし、効率的に作成された文書であっても、その内容が新鮮・正確・必要なものでなければ意味をなさない。したがって、情報の効率的な収集や共有、適切な整理・管理、迅速な伝達が求められる。(情報そのものの活用による質的な充実)

校務の質の向上には、機器の活用のとどまらない、「情報化」が必要不可欠である。



3 校務情報化の取組み

仙台市では、校務の情報化について、次のような取組みを推進している。

- ・必要な教職員一人1台のパソコンの整備（平成19年度より着手）
- ・効率的な情報の共有や伝達のための校内LANや学校間ネットワークの運営
- ・個人情報などの重要な情報の適切な管理，情報セキュリティの確保（学校情報セキュリティポリシーを策定，試行に向け準備中）

